

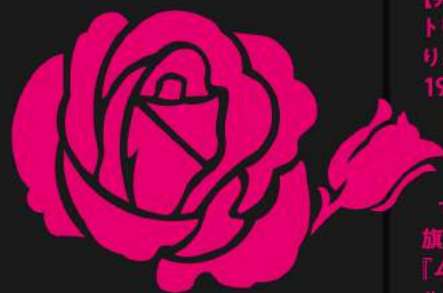
「日本の戯曲研修セミナー」in 東京 2020 《オンライン版》

新型コロナウイルス感染症の収束も見えない現状を鑑み、2020年ふたつめの「日本の戯曲研修セミナーin東京」も、オンラインでの開催となりました。若き日の井上ひさしがテアトル・エコーに書き下ろした『日本人のへそ』を取り上げ、井上ひさしの持つ「音」と「言葉」へのこだわりの面から戯曲を検証していきます。東京で活躍する演出家を中心に、全国各地で活躍する演出家がオンライン上で一堂に会し、戯曲を読み、ゲストの話聞き、ディスカッションを行い、新たな発見と理解へと向かっていきます。そしてその様子をすべて映像配信致します。浅草フランス座で育った井上ひさしが、やりたい事を目一杯詰め込んだ『日本人のへそ』を一緒に読解しましょう。



撮影：落合高仁

井上ひさしを読む！ 『日本人のへそ』



【井上ひさし】1934年山形県生まれ。浅草のストリップ劇場フランス座の文芸部兼進行係となり、台本も書きはじめる。

1964年『ひょっこりひょうたん島』の台本を執筆（共作）。1969年劇団テアトル・エコーに書き下ろした『日本人のへそ』で演劇界デビュー。「手鎖心中」で直木賞、「道元の冒険」で岸田戯曲賞ほかを受賞。1984年こまつ座を旗揚げ。25作品を執筆。戯曲に「父と暮せば」「ムサン」「化粧」「萩原検校」「紙屋町さくらホテル」など。2010年4月9日、75歳で死去。

ディスカッション見学参加者募集！

【料金】見学1,000円(通し) ※協会員無料

【使用戯曲】『日本人のへそ』

新潮文庫『表裏源内蛙合戦』などに収録されています。事前にテキストをご用意されることをお勧めします

【参加要項】Zoomに接続可能であること

【会場】Zoom。入室先は参加者に通知

【お申し込み】日本の戯曲研修部〈東京〉

〈クレジット決済〉
チケットシステム「Peatix」からご予約ください
<https://peatix.com/event/1645057>



←〈銀行振込〉
日本演出者協会のウェブからご予約ください
<http://jda.jp/>

左記のシステムが利用できない方はお名前、連絡先(メール、電話)を明記の上、メールにてご応募ください。のちほど詳細をご連絡いたします

✉ gikyokubu.tokyo@gmail.com

【お申し込み〆切】10月19日(月) 18:00

※応募人数によって先着順で〆切となる場合がございます

※チケットシステム「Peatix」では最終日直前までご予約いただけます

戯曲

に関わる
すべての人に
開かれた
セミナーです

オンライン版

井上ひさしを読む

10/22(木) - 25(日)

【会場】Zoom

一般社団法人 日本演出者協会



文化庁委託事業「令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」